

泡盛蒸留粕による農薬を使用しない土壤還元消毒技術の開発

研究目的

宮古島は沖縄県における野菜の主力産地ですが、連作による立枯病や青枯病などの土壤病害が問題となっています。そこで地域資源である泡盛蒸留粕を利用した土壤還元消毒技術を開発することにより課題解決を目指しています。

○泡盛蒸留粕とは

泡盛製造の発酵もろみ蒸留工程で生じる副産物の粕で、土壤還元消毒に有効とされる炭素5%を含みます。

○土壤還元消毒とは

フスマや米ぬかなどの分解しやすい有機物を土壤へ添加し湛水後、透明ビニール等で被覆することで土壤を還元化。これにより土壤病原菌などを低減する技術です。



泡盛蒸留粕

実証試験圃場の様子



病害が多発したゴーヤー圃場
(R7年5月)



泡盛蒸留粕による土壤還元消毒
後の圃場 (R8年1月)

調査・作業の様子



ビニール被覆作業



散布作業の所要時間調査

病害に強いゴーヤーの品種育成 ~地域適応性試験~

研究目的

ゴーヤーの重要な病害であるうどんこ病は収量低下を招く大きな要因です。そのためうどんこ病に強いゴーヤー品種育成することで、収量増加、化学農薬使用低減、収穫時の作業負担軽減を目指しています。あわせて、育成した抵抗性系統が宮古島での栽培に適するのか検討しています。



調査・作業の様子



ダイジヨの機械収穫に適した施肥量の検討

研究目的

ダイジヨ収穫作業の機械化体系に合わせた施肥技術の開発による労働負担軽減を目指しています。

沖縄県伝統野菜の1つ



系統名：明石（左）ぱり玉（右）

手掘り収穫



芋が大きくて大変

機械収穫



掘り取り機



機械収穫時に割れた芋

適した施肥量

削減したい！

調査・作業の様子



種芋調整作業



生育調査



機械収穫作業